

要望書

学校給食費の無償化について



【八代市の学校給食の様子】

令和7年11月
熊本県八代市

日頃より、本市の教育行政に関しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今、全国的に少子化が深刻化しており、特に都心部を除く地域ではその対策が喫緊の課題となっています。本市でも30年後の年少人口は現在の約13,500人から5,000人減の約8,500人と大幅に減少する見込みです。また、近年の国際情勢や物価高騰の影響は子育て世帯にとって大きな経済的負担となっており、本市でも多くの保護者から少子化対策や子育て支援策として効果が期待できる小中学校の学校給食費の無償化を望む声が届いているところです。

このような状況の中、国では、小学校を念頭に、令和8年度からの給食費無償化について検討を進めておられるところではありますが、その確実な実施に向け、早急に制度設計に取り組んでいただきますとともに、中学校への拡大についても、できる限り速やかに実現していただきますよう強く要望いたします。なお、無償化に必要な財源については、国において確実に確保いただきますとともに、制度設計にあたっては、自治体や学校現場の負担とならないよう、十分に配慮していただきますよう重ねて要望いたします。

令和7年11月

八代市長 小野 泰輔